



## 県教連の皆様とともに

岩手県教育研究所連盟 会長 村上 弘

(岩手県立総合教育センター所長)

師走の候、岩手県教育研究所連盟の皆様におかれましては、本年度の事業推進にご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

県教育研究所連盟は、今年度発足67年目を迎え、これまで県内各地の教育研究機関が連携を密にし、教育に関する調査・研究を充実させ、本県教育の推進、向上に寄与することを目的として活動して参りました。

9月の研修会では、東京学芸大学 ICT／情報基盤センター 教授 森本 康彦 先生を講師としてお招きし、「新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成を目指して～ICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現～」と題して、「主体的・対話的で深い学びの実現」を軸に、児童生徒の資質・能力の育成とICT活用の関連や、授業の考え方やそのつくり方等、具体的な実践例を交えお話をいただきました。

来る2月からは、岩手県教育研究発表会を開催いたします。今回も各教育研究所及び市町村教委から多くの発表があります。今年度は、2月7日（水）、8日（木）、9日（金）の3日間に渡り、集合型及びライブ型で開催いたします。また、その模様は開催当日から3月7日（木）にかけてオンデマンド配信でもご覧いただけます。加盟機関の皆様のご参加をお待ちしております。県内各所からの発表が、本県教育の充実と発展に繋がりますことを期待しております。

社会の担い手として必要な資質・能力を子供たち一人一人に確実に育んでいくためにも、教育の専門機関として当連盟各研究所の役割は更に重要になってくるものと存じます。研究所相互のますますの連携を図りながら、岩手の教育の推進、向上のために、ともに力を尽くして参りましょう。よろしくお願いいたします。

### 令和5年度定期総会・研究協議会の報告

令和5年5月12日（金）、令和5年度岩手県教育研究所連盟定期総会並びに研究協議会を開催いたしました。

総会では、昨年度の事業報告及び決算報告を行い、今年度の役員案、所員研修会、岩手県教育研究発表会等の事業、予算案を承認いただきました。承認いただいた令和5年度の役員は右のとおりです。また、研究協議会では「学力調査等の活用の充実」「ICT活用の充実」「幼児教育・幼保こ小の充実」の3つのグループに分かれて、活発な意見交換が行われました。

会 長	村上 弘	総合教育センター 所長
理 事	佐々木 寿洋	盛岡市教育研究所 所長
	及川 仁	花巻市教育研究所 所長
	高橋 豊和	奥州市教育研究所 所長
監 事	坂本 大淳	総合教育センター 研修部長
	侘美 淳	紫波町教育研究所 所長
事務局	南 正勝	矢巾町教育研究所 所長
	総合教育センター 企画担当	
	菊池 貴彦	主任研修指導主事
	及川 智春	主任研修指導主事
	阿部 尚史	研修指導主事
	関向 真介	研修指導主事
	安倍 貴史	研修指導主事
	佐々木 里彩	主事

## ■ 令和5年度東北・北海道地区教育センター協議会 ■

## ■ 令和5年度東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会 ■

令和5年10月19日(木)～20(金)、岩手県公会堂を会場に全国教育研究所連盟委員長並びに岩手県教育委員会教育長を御来賓に迎え、開催されました。センター協議会では、管理運営、研究研修事業協議会、及び共通研究主題による研修会が行われました。生徒指導分科会では、岩手県立総合教育センターの金野節子研修指導主事が「教育相談コーディネータ養成の取組」と題して話題提供を行いました。東北教連教育研究発表会では、教科、教科外、情報教育の3分科会で発表が行われました。6年ぶりの本県開催でしたが、両会合には、加盟の7道県、6市から79名の参加をいただき、充実した研究協議会となりました。

### 【 管理運営協議会・研究研修協議会協議題 】 (本県提案分)

- 管理運営 ○ 教育支援センターの運営状況について
- 研究研修事業 ○ 役職定年制に伴う管理職向け研修講座のあり方について

### 【 共通研究主題 】

- 学習指導 ○ 「学び続ける力」を高める学習指導の在り方 (福島県)
- 生徒指導 ○ 教育相談コーディネータ養成の取組 (岩手県)
- 情報教育 ○ 情報モラル教育の充実に向けた指導プランの提案 (秋田県)

### 【 教育研究発表テーマ 】

- 教科 ○ センター研究「学校におけるICTの効果的な利活用」 (青森県)  
○ 主体的・協働的に学び続ける力を育む探究的な学習の在り方ー総合的な学習(探究)の時間での授業づくりと学習支援Webサイトの活用を通してー (宮城県)
- 教科外 ○ みやぎの特別支援教育の推進に向けてー教員の専門性向上のための研修や専門研究の取組を通してー (宮城県)  
○ 不登校児童生徒の支援に関する校内研修プログラム (山形県)
- 情報教育 ○ 青森県におけるICTを活用した確かな学力向上を目指した取組 (青森県)  
○ 山形県教育センターにおけるICT利活用に関する調査研究について (山形県)

## ■ 令和5年度全国教育研究所連盟研究協議会 ■

令和5年10月27日(木)～28日(金)、宮城県総合教育センター主管のもと、仙台市で開催されました。宮城県総合教育センター副所長から「新たな教師の学びの姿の実現を支える教育センターの在り方」と題した基調提案が行われた後、兵庫教育大学学長 加治佐 哲也 先生をお招きし、「『新たな教師の学びの姿』の実現と教育センターの役割」と題する基調講演が行われました。午後からは2つの分科会に分かれ、計4つの提言発表、及びグループ協議が行われました。岩手県立総合教育センターの君成田隆房研修指導主事が「ICTを活用した学習活動の充実に関する研究」と題して提言発表しました。本県からは、総合教育センターの3名が参加しました。

### 【 提言発表・グループ協議テーマ 】

- 分科会A 教師に求められる資質能力の向上を図る研修・研究の在り方
  - 教員の主体的な学びを支える教育研修センターの取組ーICT活用能力の育成を図る2つの自主研修ー (宮崎県)
  - 教育の情報化に向けた教員のICT指導力向上を支える総合教育センターの取組ーテクノロジーを活用した研修会の在り方ー (宮城県)
- 分科会B 時代のニーズや環境の変化に対応する学校と教職員への支援の在り方
  - IBARAKIの挑戦!ー「探究」と「創造」でつくり上げたSTEAM教育研修講座の広がりー (茨城県)
  - ICTを活用した学習活動の充実に関する研究(2年次)ー教員のICT活用指導力の充実に資する実践事例集の作成を通してー (岩手県)

■ 令和 5 年度岩手県教育研究所連盟研修会 ■

〔目的〕 県内各教育機関で積極的に取り組みを進めている、教育活動における ICT の活用について、これまでの経緯や国の動向、具体的事例や効果について学び、各研究所における研究推進及び県内教職員の授業改善等に生かす。

〔日時〕 令和 5 年 9 月 14 日（木）13:00～15:00

〔演題〕 新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成を目指して

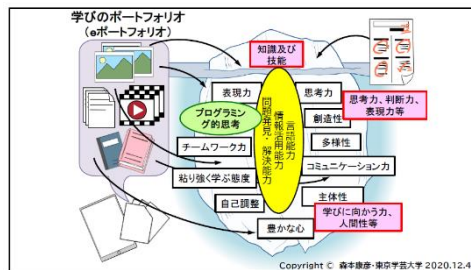
～ ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～

〔講師〕 東京学芸大学 ICT/情報基盤センター 教授 森本 康彦 先生

森本先生には、令和 4 年度岩手県教育研究発表会全体会講演会においてもご講演をいただき、「なぜ学びに ICT を活用するのか」という根源的な問いについてご教示いただきました。本研修会ではその続編として、「主体的・対話的で深い学びの実現」を軸に、児童生徒の資質・能力の育成と ICT 活用の関連や、授業の考え方やそのつくり方、家庭学習の在り方など、具体的な実践例を交えながらご講演いただきました。

(1) 今求められる力

自分が学ぼうとする主体性「やってみよう！」がいまいちばん必要。子供たちがやろうっていう気持ちにならなければうまくいかない。この主体性さえも資質・能力と言われている。基本は生徒理解、生徒指導。そもそも我々が育成しなければいけない能力は、氷山で言ったら見えるところではなく、見えない・見えにくいところ、「考える力」「判断する力」「表現、相手に伝える力」…。 ICT を使いながらよりよく育てていきたい。



(2) ICT の活用について

【なんのアプリを使うとよいか】という、授業そのものをつくるのが大切なのでなんでもよい。強いと言うならば、指をさして対話できるようなソフトがいい。指をさしながら説明させる。教える方と教えられるほうでは、教えるほうが学習効果が高い。例えば、体育のマット運動でビデオを撮ることは学習効果が高い。撮っているなかで気づきが生まれる。動画を見て指示を出すなど、学習を主導することにもつながる。加えて、学んだことを記録できるもの。感じたことや思ったことに印をつけられたり、それが学びの足跡のように残るものが主体的・対話的で深い学びを実現していくうえでとても有効である。単元が終わった後、学習過程を自分で振り返ることができるだけでなく、第三者も成長をみとることができる。

【ICT を活用した授業の作り方】については、まず ICT が無い状態で自分の作りたい授業を考える。

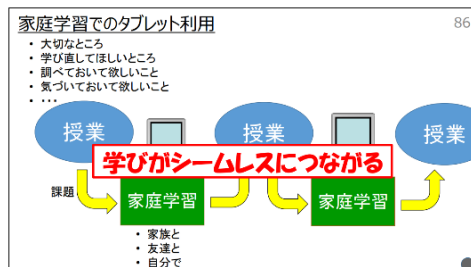
学びが起きる(気づきを得る)4つのシーン

1. 「教わる」とき	教わる
2. 「考える」とき	考える
3. 「やってみる」とき	やってみる
4. 「対話する」とき	対話する

そこに、ICT の使い方を工夫し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。それなしで知識をまねるだけではうまくいかない。また、子供たちの学びにはいかに気づきを与えるかがとても大切である。子供たちに気づきがよく起きるとき・ところに ICT を組み合わせていくとよい。

【家庭学習】は補習ではない。とても大切な授業の続きである。

家庭学習というのは授業と授業の間に次の授業につながるような学びをやることによって、単元全体をひとつの大きな授業：途切れないシームレスな学びをつくるためのもの。AI ドリルに丸投げしては教師側のメリットはない。学びが定着しづらい。家庭学習も想定して単元計画を立てることが大事。



(3) 今後取り組めること

ICT 活用がうまくいっている学校は、職員室が対話的な学びの場になっている。管理職としては、先生方がより意見を言って意見交換がしやすい場を作ること、リーダーの先生がそれを意図的に作ることが大切である。加えて、指導主事が学校を回りサポートしていきながら、地域全体が一つの大きな学びのコミュニティになるとよい。教師は教えることのプロフェッショナルとして、アスリートと同じで絶えず自分を鍛えていかななくてはならない。その鍛える場が職員室である。

**令和5年度（第67回）岩手県教育研究発表会**

令和6年2月7日（水）から3月7日（木）の期間で、岩手県教育研究発表会を開催します。今年度も集合型、ライブ型、オンデマンド型の3つの実施形態を組み合わせた発表会となります。メインテーマ「夢の実現に向けて自ら学び行動する岩手の子ども」、サブテーマを「～指導と評価の一体化で育成する確かな学力～」と設定し、講演を行うほか、教科・領域等に関わる分科会を設置します。多くの方々の御参加をお待ちしております。

**2月7日（水） 岩手県立総合教育センター 岩手県立生涯学習センター**

【分科会】＜集合型及びライブ型＞

国語 社会／地理歴史・公民 体育／保健体育 外国語活動／外国語 幼児教育／幼小接続  
カリキュラム 特別活動 いわての復興教育「いきる・かかわる・そなえる」

**2月8日（木） 岩手県立総合教育センター 岩手県立生涯学習推進センター**

【講演】＜集合型及びライブ型＞

演題：主体的・対話的で深い学びを実現する教師エージェンシー

講師：国立教育政策研究所 研究企画開発部教育研究情報推進室 総括研究官 千々布 敏弥 氏

【特設分科会】＜集合型及びライブ型＞

1 学力向上 2 人権教育 3 教育の情報化

【分科会】＜集合型及びライブ型＞

学校マネジメント

**2月9日（金） 岩手県立総合教育センター 岩手県立生涯学習推進センター**

【分科会】＜集合型及びライブ型(一部集合型のみ)＞

※特別の教科 道徳は花巻温泉ホテル花巻

算数／数学 理科 音楽 図画工作／美術 家庭／技術・家庭 教育相談 特別支援教育  
特別の教科 道徳

**2月7日（水）～2月9日（金）企画展**

学校紹介写真展＜集合型及びWebページ掲載＞ 学生科学賞入賞作品展・理科教材展＜集合型＞  
教材展〔特別支援教育〕＜オンデマンド型＞ 学校公開資料展＜Webページ掲載＞  
教職大学院展＜オンデマンド型＞

**2月7日（水）～3月7日（木）＜オンデマンド型視聴期間＞**

【講演】【特設分科会】【分科会】 ※一部分科会を除く

- ・集合型：発表者と参加者が同じ会場に集合して行う型
- ・ライブ型：オンライン環境で、参加者がリアルタイムで講演・発表を視聴する型
- ・オンデマンド型：オンライン環境で、録画した映像を視聴期間内に随時視聴する型

※開催要項及び参加申込方法の詳細は、[総合教育センターWeb ページ（特設ページ）](#)に掲載しております。

**総合教育センターをご活用ください**

総合教育センターでは、要請研修、随時研修、どようび研修など様々なニーズに対応しています。詳細については各担当までお問い合わせください。

**企画担当 0198-27-2833**

教育図書・資料の収集・提供、カリキュラム・マネジメント、いわての復興教育に関する内容

**教科領域教育担当 0198-27-2735**

幼児教育から小学校・中学校・高等学校の教科・領域等の指導に関する内容

**理科教育担当 0198-27-2742**

小学校・中学校・高等学校の理科の指導に関する内容

**情報・産業教育担当 0198-27-2254**

情報教育、視聴覚教育、技術・家庭科、高校専門教育に関する内容

**教育支援相談担当 0198-27-2821**

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における個別又は集団の教育支援に関する内容

[センターWebページ](#)では、教育研究、学習指導案、研修講座関連資料等各種教育情報を提供しています。

☞下線のある箇所をクリックすると、Web ページに接続できます。